

これからどうする?どうしたい? 障がいのある人の地域生活をかんがえる学習会

自由に家をさがそう vol.1

～映画『道草』上映会と自立生活センターどんどんさんのお話～

介護者の支援を受けながら地域で一人暮らしをする重度知的障害者の人々の日常を追ったドキュメンタリー映画『道草』の上映会と、実際に家族と離れてグループホームで生活をしていたり、グループホームを出て様々なサポートを受けながら一人暮らしをしている知的に障がいのある方を講師としてお招きし、地域でのご自身の日々の生活についてお話ししていただく学習会です。ゆくゆくはグループホームや一人暮らし等地域での生活を検討中の方やそのご家族、支援者の方で「本人主体の支援とは何か」を考えたい方、障がいや障がいがある方について知りたい、学びたい方など、どなたでも参加いただける学習会です。障がいがある方の地域の暮らしを知って、「生きづらさを抱えた人も当たり前」に地域で暮らす社会、「孤立しないでいい社会」「共に生きる」を一緒に考えてみませんか?



2019(令和元年)
7月13日(土)
13:00～
奈良県文化会館
小ホール

監督 穴戸大裕

この街で暮らす

バリアフリー
上映会
バリアフリー字幕・
音声ガイド対応

みちくさ

とき:2019(令和元年)
7月13日(土)13:00～16:00
(受付開始12:10～)

ところ:奈良県文化会館 小ホール
(〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2)
・近鉄奈良駅1番出口より東へ徒歩約5分
※駐車スペースが限られておりますので、ご来館は
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

定員:200名(事前予約制)

参加費:映画観賞・資料代 1名
1,400円(高校生以上 ※中学生以下無料)
ただし、障害者手帳をお持ちの方と
同行者お1人は1名1,000円
※手帳の提示が必要となりますので必ずご持参ください。
(保育サービスはございません)

第1部 映画『道草』
バリアフリー上映会
第2部 障がい当事者講師による
講演会

『私たちの地域での暮らし』

講師:自立生活センターどんどんの皆さん

(講師紹介) 自立生活センターどんどん

NPO 法人 出発(たびだち)のなかまの会(大阪府大阪市生野区田島1-10-30)のメンバーによる当事者活動の名称です。知的障害をもつ当事者が中心となって、いろいろな活動を行っています。自分たちのおかれていますさまざまな問題について話し合う会議、自立生活プログラム、どんどん新聞の発行、学習会、行政交渉など、その時に必要だと思う活動を自分たちのペースで続けています



■FAX 申込書■



あかるいみらい準備室宛
(FAX: 0742-30-6361)

| | | | |
|--|--|----------|--|
| 講座名 | 2019 (令和元) 年7月13日 (土) 13:00~16:00 「自由に家をさがそう vol.1~映画『道草』上映会と自立生活センター~とんとんさんのお話~」 | | |
| 所属 | | | |
| ※ご住所 | | | |
| ※お名前 <small>ふりがな</small> | | | ご年齢 |
| ※参加人数 | 名 | お連れ様のお名前 | |
| ※お電話番号 | | | FAX 番号 |
| メールアドレス | | | |
| ご質問等 | (手帳の有無、ご質問や参加されるにあたり、何か希望される配慮等がございましたらこちらにご記入ください。音声ガイド利用希望やお席の希望がございましたらお知らせください。) | | |
| 今後電話・メール等で弊団体主催の学習会やイベントなどのご案内をご希望されますか? | | | <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ※どちらかにチェックください |

(注) ※印のついた項目は必ずご記入ください。

【お申し込み方法】

下記に必要事項をご記入の上 FAX (0742-30-6361) またはメール (oyanakiato@akarui-mirai.net) でお申込みください。(お電話での申し込み可)

※この学習会は事前予約制です。定員に限りがあるため、参加ご希望の方は上記の申込用紙に必要事項をご記入いただき、FAX やメール、電話等でお早めにお申し込みください。

※お申し込み時にいただいた情報については、当窓口『プライバシーポリシー』に基づき適正に管理し、学習会における参加者の管理や名簿作成など、本事業の目的のみで使用致します。

※このチラシは本文中に UD (ユニバーサル・デザイン) フォントを使用しています。

お申込み・お問合せ: 奈良の親亡きあと・老い支度障がい者・ひきこもり等の家族のための相談窓口
あかるいみらい準備室 (担当 山口)
奈良市法華寺町1番地の5 奈良バイパスビル2階
Tel: 050-3579-1642 (受付時間 平日9時~18時)
Fax: 0742-30-6361
E-mail: oyanakiato@akarui-mirai.net
URL: http://akarui-mirai.net/

主催: あかるいみらい準備室
後援: 奈良県・奈良市・
社会福祉法人奈良県社会福祉協議会・
社会福祉法人奈良市社会福祉協議会



はみ出していき。
よし、はみ出していこう。

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線が引かれ、囲いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとほしブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わりなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。

ひとりさびし、ふたりで歩く。
雨は降る、陽は輝く。人は泣き笑う。

<知的障害者の暮らしとは?>

知的障害がある人の暮らしの場は広がってきていますが「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親元で暮らしているのが実情です。

2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー付きのひとり暮らしが出来る可能性は大きく広がりました。

そんな中、16年夏には相模原障害者殺傷事件が起きました。この街で誰もがともにあるために、新しい選択肢を見つめてみませんか?

